

平成17年5月10日

## 平成17年度市町村普通会計当初予算の概要について

この概況は、県内市町村の平成17年度普通会計（公営事業会計以外の会計を一つの会計としてまとめたもの）当初予算を取りまとめたものである。なお、青森市、五所川原市、つがる市、外ヶ浜町、深浦町、藤崎町、中泊町、七戸町及び東北町は暫定予算のため、八戸市は骨格予算のため、平成16年度及び平成17年度の集計から除いている。

本年度の市町村の当初予算は、景気低迷による地方税の減や扶助費の増など、依然として極めて厳しい財政状況にあることを踏まえ、人件費の抑制を図るなど徹底した節減合理化を推進するとともに、普通建設事業費などの投資的経費の抑制に取り組んだことなどにより、予算総額は3,042億 96百万円であり、前年度に対して 157億 29百万円の減（4.9%減）となっている。

### 1 歳入

歳入の主な内訳は、地方交付税 1,062億 31百万円（構成比34.9%）、地方税 633億 27百万円（同20.8%）、地方債 275億 79百万円（同9.1%）、国庫支出金 301億 4百万円（同9.9%）、県支出金 178億 89百万円（同5.9%）となっている。

### 2 歳出

#### (1) 目的別歳出

目的別歳出では、民生費が 721億 2百万円（構成比23.7%）と最も大きく、これに公債費 450億 36百万円（同14.8%）、総務費 394億 44百万円（同13.0%）が続き、この3費目で全体の 51.5%を占めている。

#### (2) 性質別歳出

性質別歳出では、義務的経費が、人件費 570億 50百万円（構成比18.7%）、扶助費 402億 70百万円（構成比13.2%）、公債費 450億 18百万円（構成比 14.8%）であり、合計で、1,423億 38百万円となり、歳出総額に占める割合は、46.8%となっている。

投資的経費は、428億 55百万円となり、歳出総額に占める割合は、14.1%となっている